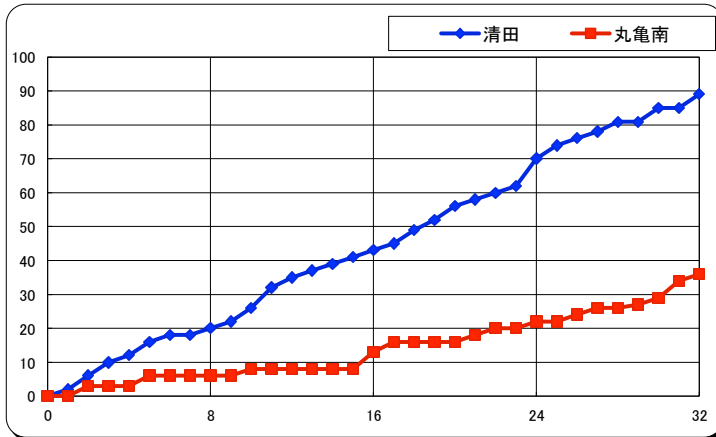




THE 44th ALL ALL JAPAN
Jr HIGH SCHOOL
BASKETBALL CHAMPIONSHIP

【得点経過】



大会名	平成26年度全国中学校体育大会 第44回 全国中学校バスケットボール大会																
会場	善通寺市民体育館																
日時	平成26年8月23日(土) 9:30																
コート	Bコート	第1試合															
カテゴリー	女	予選リーグL															
主審	大野 哲広	(奈良)															
副審	川上 典孝	(福井)															
Team A		Team B															
清田	89	36 丸亀南															
北海道		香川県															
○		●															
	<table border="1"> <tr><td>20</td><td>1st</td><td>6</td></tr> <tr><td>23</td><td>2nd</td><td>7</td></tr> <tr><td>27</td><td>3rd</td><td>9</td></tr> <tr><td>19</td><td>4th</td><td>14</td></tr> <tr><td></td><td>OT</td><td></td></tr> </table>	20	1st	6	23	2nd	7	27	3rd	9	19	4th	14		OT		
20	1st	6															
23	2nd	7															
27	3rd	9															
19	4th	14															
	OT																

【BOXスコア】

Team A		清田						
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則	
4	宗形 真李	×	17	1	6	2	0	
5	土岐 葵	×	10	0	5	0	1	
6	伊藤 天良	×	6	0	3	0	2	
7	大久保 亜美	×	4	0	2	0	1	
8	飯田 芽衣	／	2	0	1	0	1	
9	渡辺 瑠華	／	2	0	1	0	0	
10	下総 怜菜	／	2	0	1	0	3	
11	小林 未奈	／	2	0	1	0	1	
12	村上 さくら	／	7	1	2	0	0	
13	勝浦 日那	／	0	0	0	0	0	
14	海老沼 汐璃	／	2	0	1	0	1	
15	藤原 遥香	×	23	0	10	3	2	
16	山 愛良	／	2	0	1	0	0	
17	松橋 京香	／	8	0	4	0	2	
18	小野寺 佑奈	／	2	0	1	0	0	
監督	高橋 和也						0	
コーチ	津梅 直哉						0	
合	計		89	2	39	5	14	

Team B		丸亀南						
番号	選手名前	出場	得点	3P	2P	FT	反則	
4	田中 杏奈	×	2	0	0	2	1	
5	山本 由佳	×	9	3	0	0	0	
6	菊川 莉々華	×	6	0	3	0	4	
7	英 歩未	×	4	0	2	0	2	
8	堀家 祥	／	3	0	1	1	3	
9	阿宅 睦未	×	12	1	4	1	0	
10	徳永 桃花	／	0	0	0	0	0	
11	高田 野々夏	DNP	0	0	0	0	0	
12	堀井 玲奈	DNP	0	0	0	0	0	
13	寒川 優里	DNP	0	0	0	0	0	
14	徳永 彩花	DNP	0	0	0	0	0	
15	英 愛未	DNP	0	0	0	0	0	
16		DNP	0	0	0	0	0	
17		DNP	0	0	0	0	0	
18		DNP	0	0	0	0	0	
監督	西川 奈月						0	
コーチ	加藤 芳知						0	
合	計		36	4	10	4	10	

【戦評】

北海道ブロック代表清田と四国ブロック代表丸亀南の一戦。両チームマンツーマンDefでスタート。清田は#4のリバウンドショットやミドルシュートでポイントを重ねていく。対する丸亀南は、清田の激しいDefの前に#5、#9の3Pシュートで応戦するが1Qを20対6で終了。2QともにDefにマンツーマン。清田は#15のインサイドにボールを集め攻撃する。また速攻でも#15が走り次々と得点を重ねる。高さのある攻撃に丸亀南も懸命にDefし応戦する。対する丸亀南もインサイドにボールを集めた後、アウトサイドシュートを中心に攻撃する。#6のミドルシュートや#9のリバウンドシュートで得点を重ね前半を43対13で終了。

3Q丸亀南の3Pでスタート。Defでも丸亀南は1-3-1のゾーンDefに切り替え流れを変えようとする。しかし、清田は引き続き#15の高さを使ったOffと#4、#6の3Pを中心に組み立て得点を重ねる。丸亀南も中盤に6番のドライブや#8のリバウンドショットで得点するが、3Qを70対22で終了。4Q清田は2-2-1のオールコートゾーンDefをしかける。丸亀南はボールキャリアに苦しむ中、#9のミドルシュートやドライブに合わせた#6のシュートで得点する。また、丸亀南は残り4分に#8のフリースローをきっかけに1-2-1-1のオールコートゾーンプレスDefをしかけパスカット等で得点を重ねるが、清田の高さあるOffが際立った試合となり89対36で終了する。

【戦評記入者】

守屋 智彦